

# プラチナと水素経済

## 水素が今後のプラチナ需要を支える

脱炭素化の必要性が益々高まっている中、炭素排出を大幅に軽減するためのエネルギー転換に、プラチナベースの技術は重要な役割を果たす。

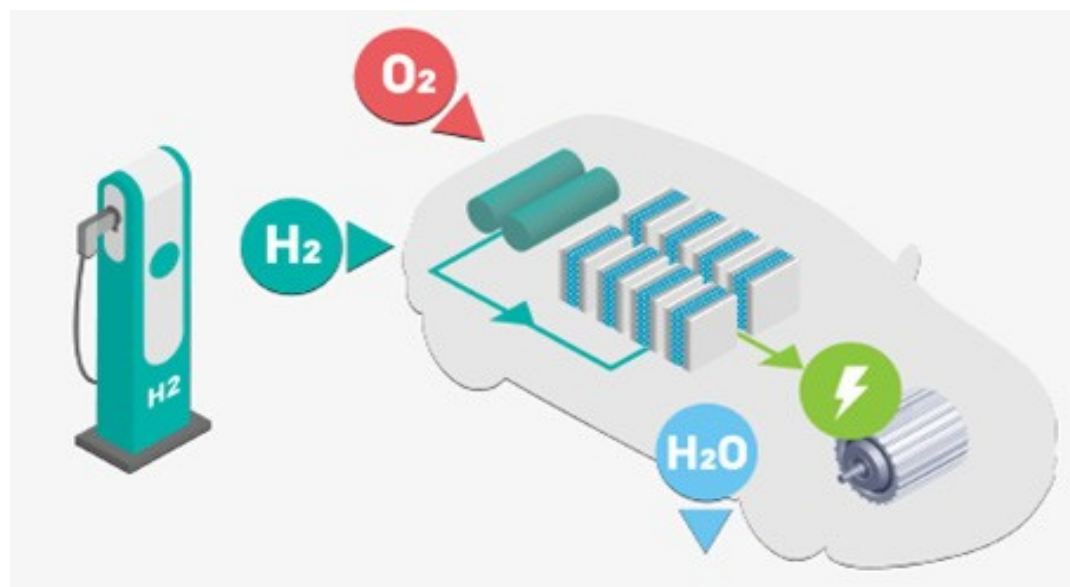
固体高分子膜技術は、水素を生産する水の電子分解と、発電を行う燃料電池という重要な二つの用途にプラチナを触媒として使い、その燃料電池は燃料電池自動車に使われる。

再生可能エネルギーを使えば固体高分子型水電解装置は炭素を発生しないグリーン水素を作り出し、グリーン水素を燃料電池自動車に使えば、全く炭素を排

出せず、化石燃料も必要としない移動手段となる。

グリーン水素を脱炭素化に利用するプラチナベースの固体高分子膜技術を使えば、2030年までに世界の炭素排出量を11%軽減できるとされている。

水素燃料関連のプラチナの需要は現在あまり多くはないが、今後は大きく伸びる予測で、2030年までにはプラチナ需要の主要分野の一つに、そして2040年までには最大の需要分野になるとされている。

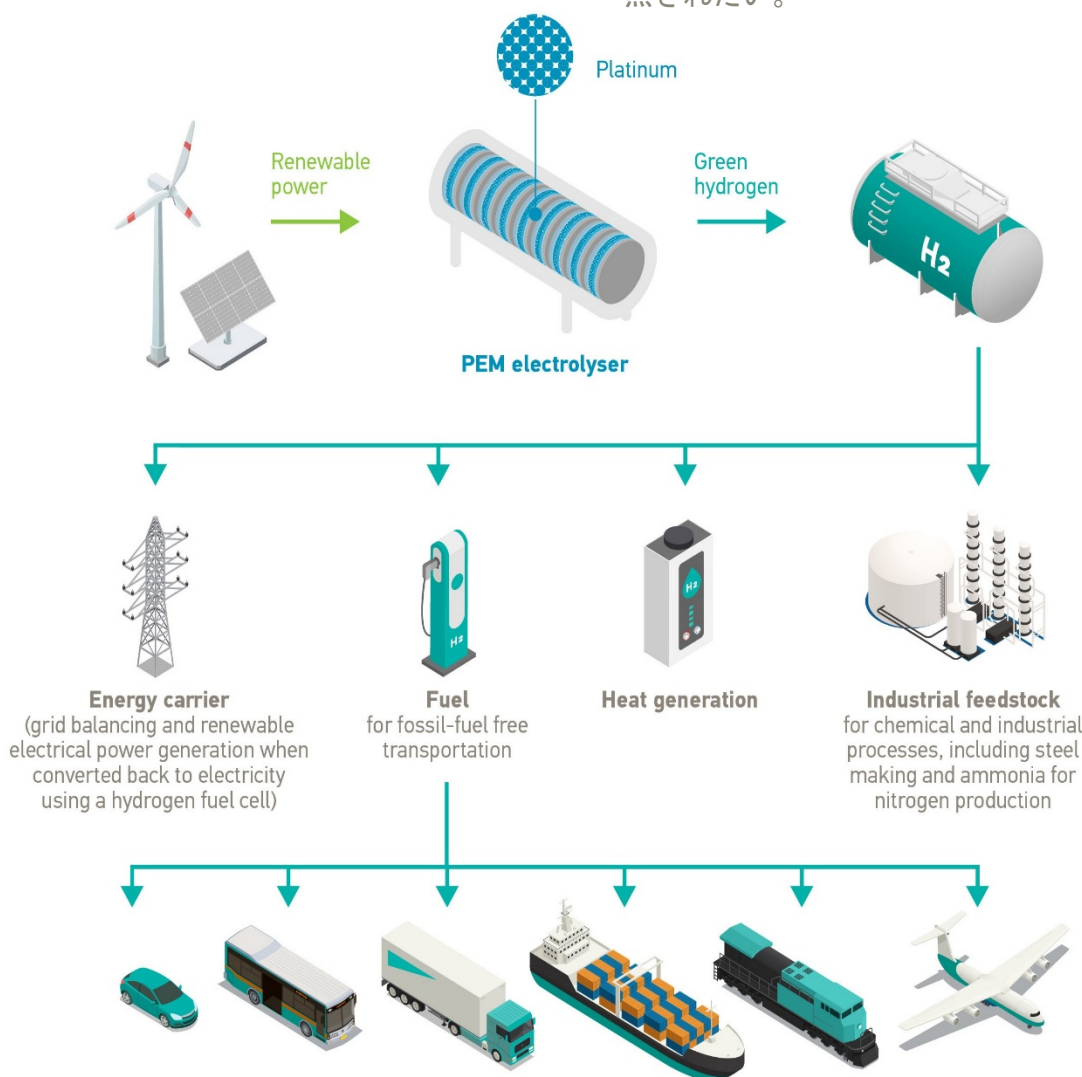


燃料電池自動車は炭素を全く排出しない移動手段

## 需要の増加

コモディティーに新たな用途が生まれることはあまりなく、また歴史の古いプラチナにとっては例外的なことでもある。この点は特に供給不足の市場においては、プラチナ投資に有利となる。

プラチナの利用によって広がる水素経済の可能性、そしてそれによって作り出される新たなプラチナ需要分野については、[new infographic from the World Platinum Investment Council](#) を参照されたい。



Contacts:

Brendan Clifford, Institutional Distribution,

[bclifford@platinuminvestment.com](mailto:bclifford@platinuminvestment.com)

Edward Sterck, Research, [esterck@platinuminvestment.com](mailto:esterck@platinuminvestment.com)

Vicki Barker, Investor Communications, [vbarker@platinuminvestment.com](mailto:vbarker@platinuminvestment.com)

**WPIC Japan** [Japan@platinuminvestment.com](mailto:Japan@platinuminvestment.com)

Sophia Zeng, Japan Market Development Manager, [szeng@platinuminvestment.com](mailto:szeng@platinuminvestment.com)



免責事項: © 2023 World Platinum Investment Council Limited. All rights reserved. ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの名称、ロゴ、及び 略称WPIC は、World Platinum Investment Council Limitedの登録商標となる。当出版物のいかなる部分も、出版者の許可なく、いかなる手段にて複製、送付されてはならない。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルはいかなる規制機関からも投資アドバイスを行うことを承認されていない。当出版物は、有価証券あるいは金融商品の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。掲載写真は例示を目的としてのみ使われている。さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイト参照: <http://www.platinuminvestment.com>  
当和訳は英語原文を翻訳したもので、あくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。